

書香

2001. 3. 27

No. 37

目

ニューポートのペリー
 (経済学部教授 飯田 剛史) 1

諸 報

朝鮮開化期大衆小説原本コレクションについて
 (人文学部講師 和田とも美) 3

紹 介

富山大学附属図書館情報システム
 更新のお知らせ 5

次

案 内

2001年度外国雑誌案内 8
 本学教官執筆図書案内 11
 附属図書館利用案内 12
 平成13年度附属図書館開館・休館予定表 14
 規則等の改正 15

そ の 他

図書館関係会議 20
 平成12年度附属図書館商議員名簿
 (平成13年3月現在) 20

ニューポートのペリー

経済学部教授 

昨年、在外研究の機会があり、そのうち3ヶ月をボストン近郊のハーバード大学(ライシャワー日本研究所)に滞在した。ボストンのあるニュー・イングランド地方はアメリカでは、メイフラワー号の清教徒上陸(1620年)以来の古い歴史をもっている。休日には家族と共に、近郊の歴史豊かな町を訪ねるのが楽しみであった。

ニューポートは、ボストンの南約100キロにあって、19世紀末に大富豪達が贅を尽くした別荘を建てた避暑地として有名である。これら大邸宅は、今日公開され多くの観光客を集めている。

それ以前、17世紀からこの町は、貿易、造船、漁業などで繁栄した港町であり、ポイント地区には当時の船長や商人たちの住宅地がそのまま残されている。その一角に、幕末に黒船を率いて来航したペリーが生まれ、少年時代を過ごした家がある(31 Walnut Street)。この地方特有の板葺き壁

のシンプルな3階屋である。中は公開されていない。1750年に建てられたこの木造の家は今も住宅として使われているのである。

マシュー・カルブレイス・ペリーは、1794年に海軍大佐クリストファーの三男として生まれ、兄たちのように十代半ばから軍艦に乗り組んだ。幾多の任務を経、海軍の強化なかでも蒸気艦建造に力を尽くした。東インド艦隊提督として日本開国の命をうけ、1853年最新の蒸気艦2隻を含む4隻の艦隊を率いて浦賀沖に到着した。これが日本に大きな「黒船」騒動を引き起こしたことはいうまでもない。翌年再び来航して、下田、函館の開港を含む日米和親条約を結び大任を果たした。彼は帰国後『日本遠征記』の編纂に専念し、完成間もなく、1858年ニューヨークの自邸で亡くなっている。

ユーモアには乏しかったが、軍人としても家庭



ペリーの生家 ニューポート

人としても模範的な人物で、部下からはOld Bruin（熊おやじ）と呼ばれ畏怖されていたという。

ニューポートには、ペリーの墓が設けられ、トゥーロ公園に記念碑と銅像がある。これを建てたのは、娘キャロラインとその夫、オーガスト・ベルモントである。ユダヤ系でドイツ生まれのベルモントは、フランクフルトのロスチャイルド商会総代理人としてアメリカで巨富を築き、政界にも影響力を持った人物である。

ペリーといえば、この町では彼の長兄オリバー・ハザード・ペリー（1785～1819）がいつそう有名であるかもしれない。オリバーは、1812年に勃発した米英戦争（独立後も両国間には緊張が続いた）において、英国艦隊を打ち破った英雄として知られている。

日本では弟マシュー・ペリーのイメージが強烈で、当時のかわら版や錦絵に太い眉の奇怪な容顔で描かれている。しかし彼の故郷でのイメージはもっと地についたものであった。

今も残る簡素質実な少年時代の家は、海軍一家に育った彼の等身大の人間像をしのばせるものであった。

今日、ニューポートと下田は姉妹都市となり、毎年夏にトゥーロ公園で「黒船フェスティバル」が行われている。

〔読書案内〕; ペリーに直接関わるものとして次のものがある。

- (1) Morison, Samuel E. “ Old Bruin; Commodore Mathew C. Perry 1794-1858 ”, 1968, Oxford Univ. Press. (座本勝之訳『伝記 ペリー提督の日本開国』2000年、双葉社)
- (2) ペリー『日本遠征日記』金井円訳、1985年、雄松堂出版
- (3) 『ペルリ提督 日本遠征記』土屋喬雄・玉城肇訳（1～4）1948 - 55年、岩波文庫
(1)は著名な歴史家による本格的な伝記(一部抄訳)、(2)はペリーの個人的な記録、(3)は公式報告書。

<朝鮮開化期大衆小説原本コレクション>について

人文学部朝鮮言語文化コース講師 和田とも美

文部省12年度大型コレクション予算により、このたび富山大学図書館に収蔵されることとなった、<朝鮮開化期大衆小説原本コレクション> 264冊は、近代朝鮮を照射する一筋の光となるものである。資料の年代は1907年から1978年に及び、ジャンルは創作・歌集・古典的作品の簡略版・説話・翻案・笑い話集・文章見本集・談話集・布教書など多岐に渡る。

朝鮮は古くから印刷技術の優れていることで知られており、活版印刷の始まりは確認される限り世界で最も早いと云われている。王朝時代を通じて特権階級により独占されてきたその技術の享受は、20世紀に入り一挙に大衆の娯楽として拡散した。それまでのような韓紙と糸によって一冊毎に丁寧に仕上げられた上等な書物とは違い、糊付け製本で粗末な紙に極彩色の絵で装飾された表紙を持つそれらの大衆娯楽小説は、30銭前後の比較的安価な値段で市場に流布することとなる。表紙のけばけばしさが、幼童の遊ぶメンコの色彩のようだというので、朝鮮語でメンコを意味する‘タクチ’を付して俗に‘タクチ本’と呼ばれる。しかしながらこの一群の作品は、意外に現存していない。現在大韓民国で写真版でリプリントされているものはわずか40タイトルにすぎない。そこからこの264冊という分量がいかに膨大なものであるかが推し量られるであろう。蔵奥深くに秘されていたこのコレクションが、朝鮮半島の外とは云え、公の場に保管され広く提供されることとなったその意義は計り知れない。これまでこのコレクションに光を当てられることがなかった所以は、その内容に‘文学的価値’が見出されてこなかったからである。文学研究史上、繰り返しその意味が再生産されるべき偉大な作品というよりは、一回の読みきりに適当な分量と内容を備えた

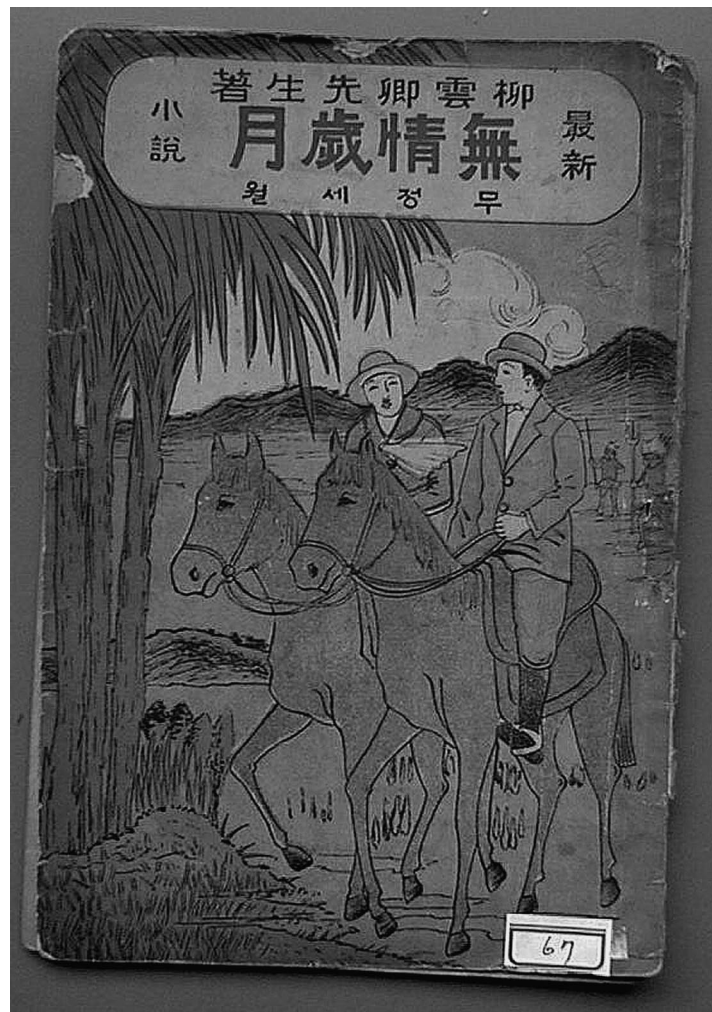
消費される娯楽と見なされてきた。題名に添えられる宣伝用の角書きを見ても「化学小説」「教育小説」「政治小説」「新小説」「義侠大活劇」「恋愛小説」「哀怨小説」「探偵冒険新小説」「満州哀話」「事実悲劇」などなど、およそ‘純文学’の枠に組みこまれ難いある種のいかがわしさを持っている。具体的には、『九雲夢』『春香伝』など朝鮮の古典的作品を適宜簡略化したものもあれば、『三国志』など中国の古典的作品を簡単にしたものもある。また『九尾狐』など口承説話を物語化したもの、『海棠花』(トルストイ『復活』の翻案)など世界の作品の翻案物、『白衣処女』など当時の世相に取材したもの、等、実に多彩である。

確かに朝鮮初の本格的長篇小説とされる李光洙の『無情』(1917年)が単行本として出版された時、その体裁は明らかに娯楽小説の一群とは異なり、単色の表紙に包まれ、宣伝用の角書きなど無かったものである。既存の近代朝鮮文学史は『無情』を出発点とする名作のみを対象に編みあげられてきた。娯楽小説の一群は角書きの一つをとって<新小説>と呼ばれ、近代小説『無情』が登場するまでの<古小説>との掛け橋としての扱いを受けるに留まっていた。すなわち最初の<新小説>が登場した1907年からわずか10年間の文学史的空白を埋めるものとして、である。しかしこのたび原本264冊を目前にしてただちに知られるのは、この極彩色の顔を持った小説群が、その程度の短期間で役目を終えたわけではなかったことである。本格的近代小説が登場した後も実に1970年代に至るまで、安上がりな娯楽として人々の生活に生きていた。‘純文学’が満たすことのできない人々の心象の何かを、この小説群が久しく引き受けていたということになる。我々近代朝鮮文学の研究者は、名作と言われる作品を対

象としながらも、それらの作品が同時代の人々にどこまで浸透していたのか常に不安を抱いてきた。言い換えれば、文学史を構築しながらも何か大きな欠落の影に常に脅かされてきたということである。このコレクションがその欠落の大きな一角を占めるものであることは間違いない。これまで写真版でしか見る事のできなかつた名作の原本に触れることのできる骨董趣味的喜びはさておき、研究的価値として注目される点はいくつもある。これまで未発掘であった小説作品については云うまでもないが、それ以外にも近代朝鮮の黎明期を照射する光となる資料がふんだんに含まれている。例えば口承説話を素とする『九尾狐』(1925)などの作品は口承説話が物語り本として定着する過程を明らかにする貴重な資料となるで

あろう。また笑い話集がいくつか含まれているのも圧巻である。異文化間では悲しみの由来はある程度共有する事はできても、笑いの源泉を共有する事は困難である。『珍談奇説笑天笑地』(1918)などは、朝鮮にとっての‘笑い’を解き明かす大切な資料となるであろう。言語学的にも『実地応用作文大方』などは当時の名文の基準がいかなるものであったかについての有用な資料である。プロテスタントや仏教の布教書は宗教学の資料でもある。文学の研究者だけに活用されるには惜しい多彩なジャンルを備えるこのコレクションが内外の研究者に活用されることを願ってやまない。

以上



柳雲卿著『最新小説「無情歲月」』1927、京城

富山大学附属図書館情報システム更新 のお知らせ

概 要

学術情報は増大の一途をたどり、サービス業務も多岐にわたるようになり、利用者の要求も多様化しています。これに対応できる図書館情報システムをめざして機種を更新しました。

図書館内の各階（1階～6階）及び工学専門図書室にも、利用者用端末をできる限り設置し、利用者にとって大変使い易い環境に心がけました。これらの端末では、インターネットをはじめ図書館のwww版OPACが検索でき、ネットワーク対応のCD-ROM検索もできます。又、ワードやエクセルも使えるようになっており、必要な情報を入力してフロッピーに落とすことができます。

6階のマルチメディア研修室の端末（31台）も新しくなり、この4月からは自由に利用できるよう計画しています。そして、学内全体のネットワーク構築の中で、総合情報処理センターの高速LANをめざしたギガビット・ネットワークの完成に合わせ図書館本館では、不足している情報コンセントの増設工事や無線LANの設置工事と、工学専門図書室では、DHCPの増設工事の完成をこの3月に予定しています。無線LANについては、図書館内の各階（1階～6階）に設置し、ネットワーク接続サービスとして新たに導入する一方、既設のDHCP接続サービスも継続して使用する予定です。この無線LANは、利用者が図書館に持ち込んだノートパソコンに図書館カウンターで貸出しを受けた無線LANカード（Windows用）を挿入して、wwwブラウザでインターネットや各種情報検索が出来るようになるものです。利用する場合は、図書館カウンターで学生証と引き換えに「無線LANカード」の貸出しを受けることになります。教職員は、「本学附属図書館利用証」

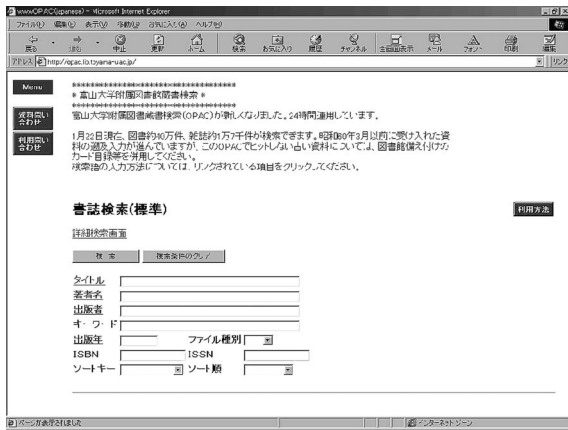
と引き換えになる予定です。使用後は、「無線LANカード」を図書館カウンターに返却して下さい。又、今回システム更新により附属図書館のOPACが大きく変わりましたので、ここに紹介したいと思います。

新OPAC（蔵書検索）の紹介

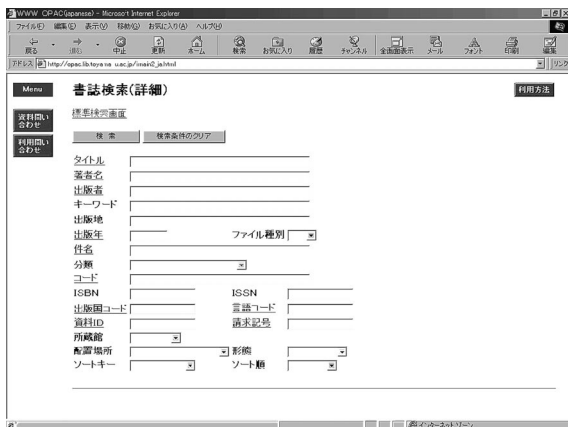
（URL：<http://opac.lib.toyama-u.ac.jp/>）

附属図書館蔵書検索（OPAC）が新しくなり、平成13年2月1日より運用を開始しました。これは富士通のiLiswaveというシステムパッケージを使っていますが、将来的には、多言語対応をめざし、iLiswaveのサーバ上に朝鮮語データベースを構築し、UCS対応www版OPACで朝鮮語文字検索及び表示を可能にすることを目的としています。このOPACは、図書：約40万件、雑誌：約1万7千件が検索できます。又、昭和60年3月以前に受け入れた資料の遡及入力も進んでいますが、ヒットしない古い資料については、図書館備え付けのカード目録等を併用することになります。このOPACの特徴としては、タイトルや著者名はもちろん出版者、キーワード、出版年、ファイル種別、ISBN、ISSN、ソートキー、ソート順を指定して検索できます。コード表の変更により、図書や雑誌の配置場所が以前より分かり易くなりました。貸出し状況や予約状況が分かります。現在、24時間運用しています。

標準検索画面（図1）表示時に詳細検索画面にリンクをクリックすると、詳細検索画面（図2）に詳細検索画面（図2）表示時に標準検索画面にリンクをクリックすると標準検索画面（図1）にそれぞれ遷移します。



(図1)



(図2)

次に各項目に従って簡単に説明します。詳細については、リンクしてある項目をクリックするか、又は利用方法をクリックすると記載してあります。

[資料問い合わせ]：資料問い合わせで資料検索、検索結果一覧表示、検索結果詳細表示、所蔵詳細表示、予約申込み、貸出状況、予約状況の表示が出来ます。詳細については、利用方法をクリックすると「書誌検索」に記載してあります。

[利用問い合わせ]：利用問い合わせをクリックし、利用問い合わせ資格審査で、利用問い合わせまたは登録名を入力し、パスワードには同じ番号を入力し、送信します。貸出（延滞）冊数や予約（予約棚）件数の一覧が表示されます。詳細については、利用方法をクリックすると「利用者情報」に記載してあります。

[タイトル]：書名、シリーズ名を検索します。書名中に含まれる単語をスペースで区切って入力すると、AND検索となります。単語の読み

は、ひらがな、カタカナで入力しても検索できます。欧文の場合、大文字、小文字の違いはありません。シャープ記号を単語の前に付けると完全一致検索ができます。例えば「#科学」と入力した場合は、「科学」のみのものを検索します。

シャープ記号を単語の前に付け、アスタリスクを単語の後ろに付けて検索すると前方一致検索ができます。例えば「#科学*」と入力した場合は、タイトルの頭に「科学」が付く資料を検索します（ex：「科学と社会」等）。

[著者名]：著者、编者、原著者などを検索します。著者の読みでも検索できます。カタカナで読みを入力しても検索できます。タイトルと同様にシャープ記号を単語の前につけて検索すると前方一致検索ができます。例えば「#夏目*」と入力した場合は、漢字で「夏目」という著者を検索します。

[出版社]：出版社名をそのまま入力して検索します。単語間スペースを空けて検索できます。読みでは、検索することはできません。

[キーワード]：キーワードの通常検索項目は、タイトル、著者名、出版者、出版地、件名、キーワード、ファイル種別です。

[出版地]：資料が出版された地名を入力します。1つ以上の一次検索項目と組み合わせて検索します。一次検索項目とは、「タイトル」、「著者名」、「出版者」、「件名」、「キーワード」、「分類」、「コード」、「ISBN」、「ISSN」、「資料ID」、「請求記号」を示します。

[出版年]：出版年だけを入力して検索することはできません。1つ以上の一次検索項目と組み合わせて検索します

[ファイル種別]：図書、雑誌を指定して検索します。指定しないと全資料を検索します。1つ以上の一次検索項目と組み合わせて検索します。

[件名]：データベースの件名標目を検索します。資料の主題を入力することにより検索します。読みでも検索します。

[分類]：分類を指定し、分野を絞って検索します。

[コード]：NACSIS Webcat で調べた時に表示される学情IDを入力しても検索できます。その場

合は、NCの後ろにスペースを入力し、学情IDを入力して下さい。

[ISBN]：国際標準図書番号（International Standard Book Numberの略称）で番号を入力して図書を検索します。

[ISSN]：国際標準逐次刊行物番号（International Standard Serial Numberの略称）で番号を入力して雑誌を検索します。

[出版国コード]：各国の該当コードを入力する。1つ以上の一次検索項目と組み合わせて検索します。

[言語コード]：各言語の該当コードを入力する。1つ以上の一次検索項目と組み合わせて検索します。

[資料ID]：資料に貼ってある11桁の数字のうち下1桁を除いた10桁の数字を入力します。その資料IDを持っている資料が検索されます。前方一致検索ができますが、上の桁にアスタリスクをもっていくにつれて、検索に時間がかかります。

[請求記号]：NDC（日本十進分類法）の番号で検索できます。図書資料の背に貼ってある請求記号の一番上の数字がこれにあたります。図書資料の背に貼ってある請求記号です。間を で区切って入力することで検索できます。

[所蔵館]：本館、工学図書室の指定をして検索します。1つ以上の一次検索項目と組み合わせて検索します。

[配置場所]：これを詳細にしたことにより、以前より分かり易くなりました。1つ以上の一次検索項目と組み合わせて検索します。

[形態]：図書、雑誌、視聴覚資料、マイクロ資料、新聞を指定して検索します。1つ以上の一次検索項目と組み合わせて検索します。

[ソートキー]：書誌検索時にソートキー、ソート順を指定することにより、書誌一覧をソートして表示させることができます。但し、資料ID、請求記号など所蔵の一次検索項目のみで検索した場合には、ソート指定が有効になりません。これは、制限事項です。タイトル、著者名、出版者、出版年、出版地、分類の各項目で指定できます。その時第2ソートキーが「タイトル 著者名」、「著者

名 タイトル」、「出版者 著者名」、「出版年 著者名」、「出版地 著者名」、「分類 著者名」のように自動的に決定されます。

[ソート順]：ASC（昇順）、DESC（降順）のいずれかを指定できます。第2ソートキーのソート順は、第1ソートキーに準じます。

おわりに

図書館は、情報の多様化の中で必要な情報を的確に、迅速に提供することに対し、益々重要な役割を担っています。今日では、利用者が何処に居てもパソコン及び携帯情報端末などでインターネットを利用して、OPACが検索できるようになっていますが、本学の図書館では、さらにこの2月から、3機種種の携帯電話によるOPACの検索もできるようになりました。

*携帯電話より下記のURLを入力することによりアクセスできます。

- i-Mode：http://www.lib.toyama-u.ac.jp/i/
- J-Sky：http://www.lib.toyama-u.ac.jp/j/
- EZweb：http://www.lib.toyama-u.ac.jp/ez/

これからも最適のシステム環境作りに心がけたいと思いますのでよろしくお願い致します。

情報サービス課学術情報係（内線6900）

2001年度外国雑誌案内

< 新規雑誌 >

British journal of sociology of education
Computing and visualization in science
Express
Focus on learning problems in mathematics
Hastings Center report
International journal of osteoarchaeology
Journal of mamatical behavior or
Journal of medicine and philosophy
Journal of nonlinear and convex analysis
Journal of urban economics
Le Monde
Le Monde des Livres
Muttersprache
Nouvel observateur
Perceptual and motor skills
Political studies; the journal of the Political Studies Association of the United Kingdom
Russian economic barometer
Zeitschrift fur Germanistische Linguistik.

上海文学

収獲

女性人

中外文学

中華文史論叢

文訊月刊

明報月刊

聯合文学

< 中止雑誌 >

A.A.P.G. bulletin
Adult education quarterly
Adult learning.
Adults learning
American journal of science
American literature

American mineralogist
American sociological review
Applied geochemistry
Art & craft
Arts & activities
Astrophysical journal. Pt. 1
Astrophysical journal. Pt. 2
Atlantic monthly
Australian feminist studies
Australian geographer
Australian geographical studies
Australian journal of earth sciences
Berkeley technology law journal
Biochemical systematics and ecology
Biometrics
Bioorganic & medicinal chemistry letters
Boreas
Bulletin of volcanology
Canadian geographer Le g• graphe canadien
Canadian journal of earth sciences
Canadian journal of forest research
Child development abstracts and bibliography
Cognitive science
Cultural studies
Current sociology
Das Parlament
Economic geology and bulletin of the Society of Economic Geologists
Economics and philosophy
Economies et societs
Enterprise systems journal
Environment international
Environmental conservation
Episodes
Flower business international
Geoforum
Geological magazine
Geological Society of America bulletin
Geology
Geothermics. International Institute for Geothermal Research
Geotimes
Harper's magazine
Hauswirtschaft und Wissenschaft
Heat transfer engineering
Histoire, conomie et socit
Historische Zeitschrift
Historische Zeitschrift
Horizon
Hudson review

I.E.E.E. Transactions on antennas and propagation
ICC International Court of Arbitration bulletin
IEEE transactions on components, packaging, and manufacturing technology. Part A.
IEEE transactions on computers
Imprints
International journal of behavioral development
International journal of climatology
International journal of multiphase flow
International journal of research in marketing
Island arc
Journal of agricultural and food chemistry
Journal of convex analysis
Journal of cultural geography
Journal of development economics
Journal of Geography
Journal of historical geography
Journal of intellectual disability research
Journal of mental imagery
Journal of paleontology
Journal of structural geology
Journal of vegetation science
Landscape
Langages
Language and cognitive processes
Malaysian journal of tropical geography
Mineralium deposita
Mineralogical magazine
Modern fiction studies
Nature biotechnology
NBER working papers series
Neue Politische Literatur
Nonlinearity
Nuclear physics
Nuclear physics. B, Proceedings supplements
Optimization methods & software
Palaeontology
Physica. Sect. D
Precambrian research
Probability theory and related fields
Psycscan. LD/MR
Quarterly journal of the Royal Meteorological Society
Reports on mathematical physics
Reviews in mineralogy
Sbornik. Mathematics
School arts
Schweizerische Mineralogische und Petrographische Mitteilungen
Scottish journal of geology
Sedimentary geology

Semigroup forum
Signs
Sociology
St. Petersburg mathematical journal
Stochastic processes and their applications
Studies in art education
Surface & coatings technology
Tectonics
Tectonophysics
The British journal of developmental disabilities
The geographical journal
The Journal of ecology
Unasyuva
Urban affairs review
Urban history
Women's studies international forum
Zeitschrift fur Heilp dagogik

人民日報
中国現代史

本学教官執筆図書案内

附属図書館では、本学教官が執筆した図書を積極的に収集しています。それらの図書は本館2階の専用コーナーに配架され、学生の皆さん等によって、有効に利用されています。新たに本を出版される際には、是非、図書館に2部ご恵贈くださるようお願いいたします。

ご寄贈いただいた図書は、『書香』及び附属図書館ホームページで紹介します。今回は平成12年11月以降の受入分です。

社会科学

規範的財務会計論：原価主義・時価主義・価値主義会計論の検討 / 榊原英夫著（経済学部）

同文館 1986（336.9/Sa3/Ki）

国際会計論 / 榊原英夫著（経済学部）

同文館 2000（336.9/Sa3/Ko）

簿記と会計 / 榊原英夫著（経済学部） 改訂版

同文館 1994（336.91/Sa3/Bo=2e）

図説世界シンボル事典：Knaurs Lexikon der Symbole / ハンス・ビーダーマン著 藤代幸一監訳

八坂書房 2000（389.033/F95/Zu）

訳者：宮内伸子（人文学部）ほか

～ 新入生の皆さんへ～

附属図書館利用案内

附属図書館は、本館（メインストリートの突き当たり）と工学専門図書室（工学部キャンパスの管理棟1階）に分かれて、約92万冊の図書、約15,000タイトルの雑誌等を所蔵しており、様々なサービスを通じて教職員及び学生の教育・研究を支援しています。

以下の説明をよく読み、大いに利用してください。図書館のことでわからないことがあれば、遠慮なく係員にお尋ねください。

1. 開館時間

平日（学期中） 午前9時～午後10時
（ただし、夏休み、冬休み、及び春休みの期間中は、ともに午前9時～午後5時です。）
土・日曜日（学期中） 午前10時～午後5時

2. 休館日

- ・休業中の土・日曜日
 - ・国民の祝日
 - ・本学創立記念日（5月31日）
 - ・年末年始（12月27日～1月4日）
 - ・その他、館長が特に必要と認めた日。
- 詳細は、開館・休館予定表をご覧ください。

3. 図書の貸出と返却

図書館資料は、館内で自由に閲覧することが出来ます。

貸出を希望する場合は、図書と学生証を貸出カウンターに提出してください。貸出冊数及び貸出期間は、次のとおりです。

- ・学部学生 5冊以内 2週間以内
- ・大学院生 10冊以内 1ヶ月以内
- ・研究生、聴講生等は、学部学生と同じ

（ただし、雑誌・参考図書・視聴覚資料は、貸出できません。）

なお、貸出手続きを受けないで図書を持ち出そうとすると、ブザーが鳴り、出口バーがロックされますので、注意してください。

夏休み、冬休み、そして春休み期間中は図書の長期貸出サービスを利用できます。

貸出を受けた図書は、返却カウンターに返してください。閉館時は、玄関左側の返却ポストに入れてください。また、返却期限に遅れるとその日数の期間が貸出停止になりますので、遅れないように注意してください。

貸出期限内であれば、1回更新できます（ただし、長期貸出や予約者がいる場合は不可）。

4. 資料の探し方

図書館の資料の探し方には（1）コンピュータを利用する方法（OPAC：オーパックと読みます）と、（2）カード式目録を調べる方法の2種類があります。

（1）のOPACで検索できる範囲は、昭和60年度（1985）以降に受入した図書、それ以前の受入本でもさかのぼってコンピュータに登録した図書、更に、所蔵する雑誌の全タイトルです。

OPACの使い方マニュアルは、利用者検索（OPAC）用コンピュータ横に備え付けてありますので、一読して活用してください。昭和59年度（1984）以前の受入本については、コンピュータ未入力のものが多いので、上記（2）カード式目録を調べてください。著者名・書名・件名（本の主題を表す言葉）等のカードがABC順（和図書はヘボン式ローマ字）に配列してあります。

5. 資料の配列

利用者検索（OPAC）用コンピュータあるいはカード目録を使って求める図書の情報が見つかったら、その請求記号を確認してください。本を探さず大切な手掛りになります。貸出中でなければ、館内の配架場所ごとに請求記号順に本が並んでいます。請求記号は下の例のような数字・英字の組合せで、図書の背にラベルが貼ってあります。

1段目の数字は、学問分野をコード化した分類番号を採用しているので、同じ番号あるいは近似の番号のところには、同じような研究内容の本が集まっています。関連文献を一緒に見つけるのに便利です。

(例) 夏目漱石『吾輩は猫である』(漱石全集)
岩波書店

918.68
N21
lw=1

ただし、コンピュータ画面上は横一列になって、
918.68 N21 lw=1 と表示されます。区切り記
号()ごとに1段落と見なしてください。

貸出中のものを利用したいときは、返却期限日
から判断して、(a) 近日中に返却されそうな場
合は予約をかけます。(b) 教官や研究室に長期
貸出されているものは、一時借用のための専用の
申込書が貸出カウンターにありますので、記入し
てください。

雑誌については、請求番号は特にありません。
基本的に、雑誌名順に配列されているからです。
外国雑誌(発行地が外国)はABC順、国内雑誌
(発行地が国内)は五十音順です。

ちなみに、図書館資料は書棚の左から右へ、書
架の上の棚から下の棚へと並んでいます。1列の
端まできたら裏側に続きます。

6. 館内の配架場所

[所在表示]	[配置場所]	[資料区分]
本館1階	本館1階	参考図書、学生用図書
雑誌情報室	本館南2階	雑誌(人文・社会系)
雑誌情報室	本館南3階	雑誌(理工系)
本館南4,5,6階	本館南4~6階	研究用図書
工学図 書庫	工学専門図書室 本館北書庫1~4階	工学系の図書・雑誌 昭和59年度以前受入図書

書庫内に配架されている昭和59年度(1984)
以前の受入図書は遡及入力作業が完了しておりま
せんので、OPAC検索で見つからない場合は、前
述のカード式目録を利用してください。

雑誌のうち、大学・研究機関等の紀要・報告類
は、本館北書庫3~4階に配架されています。雑
誌資料室(本館南2~3階)の電動式集密書架で見
つからない雑誌は、こちらを探してください。組
織名を冠した雑誌名のABC順に並んでいます。

書庫へ入るときは、学生証を提出してください
(バッグ類は持込み禁止です)。書庫の利用時間は
平日午前9時~午後5時です。

7. 参考調査・文献複写

本学図書館にない資料でも他大学等の所蔵を調
べて、コピーや現物を取り寄せることができます
(実費有料)。

また、館内にプリペイドカードが使える複写機
を設置していますが、図書館資料を複写する場
合は、著作権法に基づく所定の手続が必要です。備
え付けの文献複写申込書に記入の上、カウンタ
ーに申し込んでください。

その他、図書館の利用方法や資料のことでわか
らないことがあれば、カウンターで気軽にご相談
ください。

8. その他のサービス

(1) インターネット、CD-ROM

本館南1階のマルチメディア・コーナーに情報
検索用のコンピュータが設置してあり、インター
ネットやCD-ROMの検索ができます。また、
IP接続が可能な携帯パソコンを持ち込んでイン
ターネットを利用する場合は、本館南各階の閲覧
室北側に用意してある情報コンセント(DHCP
接続対応)が便利です。

(2) i-Book サービス

iモード対応の携帯電話でOPACの検索や、図
書の新着案内の閲覧ができます。携帯電話のキャ
リアごとに以下のURLにアクセスして下さい。

iモード

<http://www.lib.toyama-u.ac.jp/i/>

J-SKYWEB

<http://www.lib.toyama-u.ac.jp/j/>

EZweb

<http://www.lib.toyama-u.ac.jp/ez/>

(3) ビデオ

語学学習等のビデオが用意してあります。貸出
カウンターで申し込めば、本館北2階自由閲覧室
内のビデオ・ブースで利用できます。

(4) 購入希望図書

教育・研究に不可欠な資料で、本学には所蔵し
ていないものについては、所定の申込書に必要事
項を書いて、リクエストすることができます。

(5) 富山医科薬科大学との相互利用

富山医科薬科大学附属図書館で図書の貸出を受
けることができます。図書の貸出を受けるには、
予め利用証の交付を受ける必要がありますので、
学生証持参のうえ、富山医科薬科大学附属図
書の窓口で交付の手続きを行ってください。貸出冊
数は、4冊まで、期間は2週間です。

(6) 館内施設の利用

グループ閲覧室などの館内施設を利用する場
合は、カウンターで所定の申込書に必要事項を記
入してから利用してください。

平成13年度 附属図書館開館・休館予定表

4月		5月		6月		7月		8月		9月	
1	日	1	火	1	金	1	日	1	水	1	土
2	月	2	水	2	土	2	月	2	木	2	日
3	火	3	木	3	日	3	火	3	金	3	月
4	水	4	金	4	月	4	水	4	土	4	火
5	木	5	土	5	火	5	木	5	日	5	水
6	金	6	日	6	水	6	金	6	月	6	木
7	土	7	月	7	木	7	土	7	火	7	金
8	日	8	火	8	土	8	日	8	水	8	土
9	月	9	水	9	日	9	月	9	木	9	日
10	火	10	木	10	月	10	火	10	金	10	月
11	水	11	金	11	日	11	水	11	土	11	火
12	木	12	土	12	火	12	木	12	日	12	水
13	金	13	日	13	水	13	金	13	月	13	木
14	土	14	月	14	木	14	土	14	火	14	金
15	日	15	火	15	金	15	日	15	水	15	土
16	月	16	水	16	土	16	月	16	木	16	日
17	火	17	木	17	日	17	火	17	金	17	月
18	水	18	金	18	月	18	水	18	土	18	火
19	木	19	土	19	火	19	木	19	日	19	水
20	金	20	日	20	水	20	金	20	月	20	木
21	土	21	月	21	木	21	土	21	火	21	金
22	日	22	火	22	金	22	日	22	水	22	土
23	月	23	水	23	土	23	月	23	木	23	日
24	火	24	木	24	日	24	火	24	金	24	月
25	水	25	金	25	月	25	水	25	土	25	火
26	木	26	土	26	火	26	木	26	日	26	水
27	金	27	日	27	水	27	金	27	月	27	木
28	土	28	月	28	木	28	土	28	火	28	金
29	日	29	火	29	金	29	日	29	水	29	土
30	月	30	水	30	土	30	月	30	木	30	日
		31	木			31	火			31	金

10月		11月		12月		1月		2月		3月	
1	月	1	木	1	土	1	火	1	金	1	金
2	火	2	金	2	日	2	水	2	土	2	土
3	水	3	土	3	月	3	木	3	日	3	日
4	木	4	日	4	火	4	金	4	月	4	月
5	金	5	月	5	水	5	土	5	火	5	火
6	土	6	火	6	木	6	日	6	水	6	水
7	日	7	水	7	金	7	月	7	木	7	木
8	月	8	木	8	土	8	火	8	金	8	金
9	火	9	金	9	日	9	水	9	土	9	土
10	水	10	土	10	月	10	木	10	日	10	日
11	木	11	日	11	火	11	金	11	月	11	月
12	金	12	月	12	水	12	土	12	火	12	火
13	土	13	火	13	木	13	日	13	水	13	水
14	日	14	水	14	金	14	月	14	木	14	木
15	月	15	木	15	土	15	火	15	金	15	金
16	火	16	金	16	日	16	水	16	土	16	土
17	水	17	土	17	月	17	木	17	日	17	日
18	木	18	日	18	火	18	金	18	月	18	月
19	金	19	月	19	水	19	土	19	火	19	火
20	土	20	火	20	木	20	日	20	水	20	水
21	日	21	水	21	金	21	月	21	木	21	木
22	月	22	木	22	土	22	火	22	金	22	金
23	火	23	金	23	日	23	水	23	土	23	土
24	水	24	土	24	月	24	木	24	日	24	日
25	木	25	日	25	火	25	金	25	月	25	月
26	金	26	月	26	水	26	土	26	火	26	火
27	土	27	火	27	木	27	日	27	水	27	水
28	日	28	水	28	金	28	月	28	木	28	木
29	月	29	木	29	土	29	火			29	金
30	火	30	金	30	日	30	水			30	土
31	水			31	月	31	木			31	日

- 通常開館 9:00~22:00
- 短縮 短縮開館 9:00~17:00 (工学専門図書室 1/18は9:00~12:00)
- 休日開館 10:00~17:00
- 休館
 - 国民の祝日に関する法律に定める祝日及び休日
 - 休業期間中の土・日曜日
 - 創立記念日(5月31日)
 - 大学祭に伴う休業日(6月1日~6月3日)
 - 作業停電日(10月6日)
 - 館内図書整理日(12月27日)
 - 年末年始(12月28日~1月4日)
 - 大学入試センター試験実施日(1月19・20日)
 - 入学者選抜学力検査前期・後期日程実施日(未定)

規則等の改正

富山大学附属図書館規則の改正

改正理由

1. 全学委員会の整理統合に伴い、富山大学附属図書館商議会規則の見直しにより、所要事項を改める。
2. 字句の整備を行う。

富山大学附属図書館規則新旧対照表

改正前	改正後
(略)	(略)
(設置の目的) 第2条 富山大学附属図書館(以下「図書館」という。)は、富山大学の教育研究に必要な図書館資料を収集・管理し、教職員及び学生に利用させることを目的とする。	(設置の目的) 第2条 富山大学附属図書館(以下「図書館」という。)は、富山大学の教育及び研究活動に必要な図書、雑誌その他の資料(以下「図書館資料」という。)を収集し、整理し、保存して、教職員及び学生の利用に供することを目的とする。
(略)	(略)
(図書館商議会) 第5条 図書館の運営に関する重要事項を審議するため、富山大学附属図書館商議会(以下「商議会」という。)を置く。 2 商議会に関する規則は別に定める。	(図書館運営委員会) 第5条 図書館の運営に関する重要事項を審議するため、富山大学附属図書館運営委員会(以下「運営委員会」という。)を置く。 2 運営委員会に関する規則は別に定める。
(略)	(略)
	附 則 この規則は、平成12年9月22日から施行する。

富山大学附属図書館長選考基準の改正

改正理由

富山大学附属図書館商議会規則の全部改正に基づき、所要事項を改める。

富山大学附属図書館長選考基準新旧対照表

改正前	改正後
(略)	(略)
第3条 附属図書館長候補者の選考に際して、富山大学附属図書館商議会は、同商議会規則第3条第1項第1号及び第2号に規定する委員により、本学の教授のうちから附属図書館長候補適任者3名を選定し、これを学長に推薦する。	第3条 附属図書館長候補者の選考に際して、富山大学附属図書館運営委員会は、同運営委員会規則第3条第1項第1号、第2号、第3号及び第4号に規定する委員により、本学の教授のうちから附属図書館長候補適任者3人を選定し、これを学長に推薦する。
(略)	(略)
	附 則 この基準は、平成12年10月20日から施行し、平成12年9月22日から適用する。

富山大学附属図書館商議会規則の改正

改正理由

全学委員会の整理統合に伴い、富山大学附属図書館商議会規則の見直しにより、所要事項を改める。

富山大学附属図書館商議会規則新旧対照表（全部改正）

改 正 前	改 正 後
<p>（趣 旨）</p> <p>第1条 この規則は、富山大学附属図書館規則第5条の規定に基づき、富山大学附属図書館商議会（以下「商議会」という。）の所掌事項、組織及び運営等について必要な事項を定める。</p> <p>（所掌事項）</p> <p>第2条 本会は、次の事項を審議する。</p> <p>（1）附属図書館に関する規則の制定及び改廃に関する事項</p> <p>（2）附属図書館の予算に関する事項</p> <p>（3）学長の諮問した事項</p> <p>（4）附属図書館長又は商議員から提議した事項</p> <p>（5）その他附属図書館に関する重要な事項</p> <p>（構 成）</p> <p>第3条 本会は、次の職員でこれを構成する。</p> <p>（1）附属図書館長</p> <p>（2）各学部の図書委員会の委員長及び副委員長</p> <p>（3）附属図書館事務部長</p> <p>（4）附属図書館情報管理課長</p> <p>（5）附属図書館情報サービス課長</p> <p>2 附属図書館長は、必要に応じ商議員以外の職員を本会に出席させることができる。</p> <p>（議 事）</p> <p>第4条 本会は、附属図書館長がこれを召集し、議長となる。</p> <p>2 附属図書館長に事故あるときは、その指名する商議員がこれに代わる。</p> <p>第5条 本会は、構成員の半数以上が出席しなければ開会することができない。</p> <p>2 議事は、出席者の過半数をもって決する。可否同数であるときは、議長がこれを決する。</p> <p>（庶 務）</p> <p>第6条 商議会の庶務は、附属図書館事務部において処理する。</p>	<p>（趣 旨）</p> <p>第1条 この規則は、富山大学附属図書館規則第5条の規定に基づき、富山大学附属図書館運営委員会（以下「運営委員会」という。）の所掌事項、組織及び運営について必要な事項を定める。</p> <p>（所掌事項）</p> <p>第2条 運営委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。</p> <p>（1）運営の基本方針に関する事項</p> <p>（2）規則の制定及び改廃に関する事項</p> <p>（3）予算に関する事項</p> <p>（4）その他重要な事項</p> <p>（組 織）</p> <p>第3条 運営委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。</p> <p>（1）附属図書館長</p> <p>（2）学部の教員各2人</p> <p>（3）教養教育副実施機構長</p> <p>（4）総合情報処理センター長</p> <p>（5）附属図書館事務部長</p> <p>（6）附属図書館情報管理課長</p> <p>（7）附属図書館情報サービス課長</p> <p>（8）その他委員会が必要と認めた者</p> <p>2 第1項第8号の委員の任期は、運営委員会が定める。</p> <p>（委員長）</p> <p>第4条 運営委員会に、委員長を置き、附属図書館長をもって充てる。</p> <p>2 委員長は、運営委員会を招集し、その議長となる。ただし、委員長に事故あるときは、委員長があらかじめ指名した委員がその職務を代行する。</p> <p>（議 事）</p> <p>第5条 運営委員会は、委員の過半数が出席しなければ開会することができない。</p> <p>2 議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。</p> <p>（意見の聴取）</p> <p>第6条 運営委員会が必要と認めたときは、委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。</p> <p>（庶 務）</p> <p>第7条 運営委員会の庶務は、附属図書館情報管理課において処理する。</p> <p style="text-align: center;">附 則</p> <p>この規則は、平成12年9月22日から施行する。</p>

富山大学学部図書委員会規則の改正

改正理由

委員会の目的及び構成の見直しにより，所要事項を改める。

富山大学学部図書委員会規則新旧対照表

改正前	改正後
(略)	(略)
<p>(目的) 第2条 本会は，各学部の図書費予算等に関する事項を審議する。</p> <p>(構成) 第3条 本会は，次の職員でこれを構成する。 (1) 委員15名以内(教授，助教授及び専任講師の互選による。) (2) 附属図書館事務部長</p>	<p>(目的) 第2条 本会は，学部の図書の選定等に関する事項を審議する。</p> <p>(組織) 第3条 本会は，学部の教授，助教授及び専任講師の中から15人以内の教員をもって組織する。</p>
(略)	(略)
	<p>附 則 この規則は，平成12年9月22日から施行する。</p>

富山大学附属図書館利用内規の改正

改正理由

1. 「国立大学図書館間共通閲覧証」の廃止により，所要事項を改める。
2. 開館時間の変更に伴い，休業期間中の開館時間を見直し，所要事項を改める。
3. 附属図書館利用証の発行の見直しにより，所要事項を改める。

富山大学附属図書館利用内規新旧対照表

改正前	改正後
(略)	(略)
<p>(休業期間中の開館時間) 第2条 富山大学学則第21条に規定する夏季休業，冬季休業及び春季休業の各休業期間においては，規則第3条第2項により，開館時間を午前8時30分から午後5時までに変更する。</p>	<p>(休業期間中の開館時間) 第2条 富山大学学則第21条に規定する夏季休業，冬季休業及び春季休業の各休業期間においては，規則第3条第2項により，開館時間を午前9時から午後5時までとする。</p>
(略)	(略)
<p>(附属図書館利用証) 第4条 規則第2条第1号から第3号までに掲げる者は，図書館を利用するときは，附属図書館利用証(以下「利用証」という。)(別紙様式1)の交付を受けなければならない。</p>	<p>(附属図書館利用証) 第4条 規則第2条第1号から第3号までに掲げる者は，図書館を利用するときは，附属図書館利用証(以下「利用証」という。)(別紙様式1)の交付を受けなければならない。ただし，磁気カードによる学生証又は身分証明書<small>の発行を受けた者は，当該カードを利用証とする。</small></p>
(略)	(略)
<p>(他大学図書館等の利用) 第12条 規則第18条の規定による他大学図書館等の利用を希望する者は，次の手続きを経なければならない。 (1) 他大学図書館等が所蔵する図書の閲覧を希望するときは，閲覧窓口において，備付けの申込書により国立大学図書館間共通閲覧証又は他大学図書館等利用依頼状の交付を受けるものとする。</p>	<p>(他大学図書館等の利用) 第12条 他大学図書館等が所蔵する図書の閲覧を希望するときは，利用時に身分証明書又は学生証等を提示し，利用しようとする図書館等の指示に従うものとする。 2 他大学図書館等が所蔵する図書の複写又は借受を希望するときは，参考窓口において，備付けの申込書により依頼するものとする。</p>

改正前	改正後
<p>る。</p> <p>(2) 他大学図書館等が所蔵する図書の複写又は借受を希望するときは、参考窓口において、備付けの申込書により依頼するものとする。</p> <p>(略)</p>	<p>(略)</p> <p>附 則 この内規は、平成12年7月19日から実施する。</p>

富山大学附属図書館学外者利用内規の改正

改正理由

「国立大学図書館間共通閲覧証」の廃止及び附属図書館における学外者サービスの見直しにより、所要事項を改める。

富山大学附属図書館学外者利用内規新旧対照表

改正前	改正後
<p>(略)</p> <p>第2条 学外者で図書館を利用することができる者(以下「利用者」という。)は次に掲げる者とする。</p> <p>(1) 国立大学図書館間共通閲覧証を提示した者</p> <p>(2) 他の機関等に属する者で所属機関長の依頼状を提出した者</p> <p>(3) 本学の職員の紹介状を提出した者</p> <p>(4) 本学の元職員</p> <p>(5) 本学の卒業生</p> <p>(6) その他学術研究・調査又は学習を目的とする一般市民</p> <p>(略)</p> <p>(利用の範囲)</p> <p>第4条 利用者は、前条の図書を館内で閲覧することができる。</p> <p>2 利用者は、学術研究・調査のため、特に図書の貸出を必要とする場合は、館長の許可を得て図書の貸出を受けることができる。</p> <p>3 利用者は、必要に応じて、文献及び学術情報等についての参考調査を図書館に依頼することができる</p> <p>4 利用者は、富山大学附属図書館文献複写規則により文献複写を依頼することができる。</p> <p>(略)</p>	<p>(略)</p> <p>第2条 学外者で図書館を利用することができる者(以下「利用者」という。)は次に掲げる者とする。</p> <p>(1) 他大学、短期大学、高等専門学校等の機関に属する者</p> <p>(2) 本学の職員の紹介状を提出した者</p> <p>(3) 本学の元職員</p> <p>(4) 本学の卒業生</p> <p>(5) その他学術研究・調査又は学習を目的とする一般市民</p> <p>(略)</p> <p>(利用の範囲)</p> <p>第4条 利用者は、前条の図書を館内で閲覧することができる。</p> <p>2 利用者は、学術研究・調査のため、特に図書の貸出を必要とする場合は、館長の許可を得て図書の貸出を受けることができる。</p> <p>3 図書の貸出冊数は5冊以内、貸出期間は2週間以内とする。</p> <p>4 利用者は、貸出を受けた図書を転貸してはならない。また、貸出期間を経過した場合は延滞日数相当期間貸出を受けることができない。</p> <p>5 利用者は、貸出期限後も引き続き貸出を希望するときは、当該図書を持参し、所定の手続きを行い、1回限り貸出期間の更新をすることができる。ただし、貸出希望の予約がある図書については、更新することができない。</p> <p>6 次に掲げる資料は、貸出すことはできない。</p> <p>(1) 貴重図書</p> <p>(2) 参考図書</p> <p>(3) 逐次刊行物</p> <p>(4) 視聴覚資料</p> <p>7 利用者は、必要に応じて、文献及び学術情報等についての参考調査を図書館に依頼することができる。</p> <p>8 利用者は、富山大学附属図書館文献複写規則により文献複写を依頼することができる。</p> <p>(略)</p> <p>附 則 この内規は、平成12年7月19日から実施する。</p>

富山大学附属図書館自己点検評価委員会内規の改正

改正理由

- 1 附属図書館商議会規則の改正に伴い、所要事項を改める。
- 2 字句の修正を行う。

富山大学附属図書館自己点検評価委員会内規新旧対照表

改正前	改正後
(略)	(略)
<p>(組織)</p> <p>第3条 委員会は、次の各号に掲げる者をもって組織する。</p> <p>(1) 館長</p> <p>(2) 各学部から選出された附属図書館商議員 各1人</p> <p>(3) 事務部長</p> <p>(4) 情報管理課長</p> <p>(5) 情報サービス課長</p> <p style="text-align: center;">(略)</p>	<p>(組織)</p> <p>第3条 委員会は、次の各号に掲げる者をもって組織する。</p> <p>(1) 館長</p> <p>(2) 学部から選出された附属図書館運営委員会委員 各1人</p> <p>(3) 事務部長</p> <p>(4) 情報管理課長</p> <p>(5) 情報サービス課長</p> <p style="text-align: center;">(略)</p> <p style="text-align: center;">附 則</p> <p>この内規は、平成12年9月22日から実施する。</p>

図書館関係会議

(平成12年9月～平成13年3月)

学内関係

- ・第4回50年史編集小委員会
期日 平成12年9月21日
場所 附属図書館会議室
- ・第1回附属図書館運営委員会
期日 平成12年10月17日
場所 附属図書館会議室
- ・第1回情報基盤専門委員会
期日 平成12年11月28日
場所 附属図書館会議室
- ・第2回附属図書館運営委員会
期日 平成12年12月18日
場所 附属図書館会議室
- ・第2回情報基盤専門委員会
期日 平成12年12月21日
場所 事務局中会議室

学外関係

- ・2000年京都電子図書館国際会議
期日 平成12年11月13日～15日
場所 京都大学
- ・北信越地区国立大学附属図書館事務部課長会議
期日 平成12年11月20日～21日
場所 上越教育大学
- ・国立大学附属図書館事務部長会議
期日 平成13年1月25日
場所 徳島大学

平成12年度附属図書館運営委員名簿

(平成13年3月1日現在)

館長	小谷 仲男	教養教育実施機構	宮崎 州弘
人文学部	高安 和子	総合情報処理センター	山西 潤一
人文学部	内山 純蔵	工学部	北野 博巳
教育学部	村上 宣寛	工学部	堀田 裕弘
教育学部	市瀬 和義	事務部長	笹川 郁夫
経済学部	小松 和生	情報管理課長	星野 茂登一
経済学部	若林 文靖	情報サービス課長	田中 成直
理学部	鈴木 邦雄		
理学部	栗本 猛		